

【表紙】

| | |
|------------|--------------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 福岡財務支局長 |
| 【提出日】 | 2020年5月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第65期第3四半期（自 2020年1月1日至 2020年3月31日） |
| 【会社名】 | サイタホールディングス株式会社 |
| 【英訳名】 | SAITA CORPORATION |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 才田 善之 |
| 【本店の所在の場所】 | 福岡県朝倉市下淵472番地 |
| 【電話番号】 | 0946(22)3875 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 平山 繁之 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 福岡県朝倉市下淵472番地 |
| 【電話番号】 | 0946(22)3875 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役管理本部長 平山 繁之 |
| 【縦覧に供する場所】 | 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第64期 第3四半期連結 累計期間 | 第65期 第3四半期連結 累計期間 | 第64期 |
|--------------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2018年7月1日 至2019年3月31日 | 自2019年7月1日 至2020年3月31日 | 自2018年7月1日 至2019年6月30日 |
| 売上高 (千円) | 4,789,423 | 5,937,529 | 6,724,833 |
| 経常利益 (千円) | 762,491 | 728,068 | 903,948 |
| 親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円) | 492,686 | 489,313 | 536,672 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 474,170 | 474,903 | 528,386 |
| 純資産額 (千円) | 2,832,145 | 3,329,740 | 2,886,361 |
| 総資産額 (千円) | 7,126,900 | 7,484,188 | 7,212,466 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益 (円) | 781.45 | 776.13 | 851.22 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 39.7 | 44.5 | 40.0 |

| 回次 | 第64期 第3四半期連結 会計期間 | 第65期 第3四半期連結 会計期間 |
|-----------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自2019年1月1日 至2019年3月31日 | 自2020年1月1日 至2020年3月31日 |
| 1株当たり四半期純利益 (円) | 375.97 | 298.97 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

経営成績

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦や中国経済成長の鈍化、Brexitの迷走、中東情勢などにより、世界的な経済成長の減速感が高まっております。加えて、新型コロナウイルスのパンデミックの影響が出始め、「ヒト・モノ」の動きが大きく制限され、全世界において経済環境は急激に悪化しております。

建設業界におきましては、公共投資、民間設備投資は堅調に推移しているものの、資材価格や労務費の高止まりによる工事収益率の低下や建設技術者不足は依然として続いており、先行きは予断を許さない状況となっております。

このような状況下、当社グループは総力を挙げて受注活動を行うとともに、グループ各社の収益改善に努めて参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は59億3千7百万円（前年同四半期比24.0%増）となり、営業利益6億4千万円（前年同四半期比8.2%減）、経常利益7億2千8百万円（前年同四半期比4.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億8千9百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。

セグメントごとの経営成績を示すと次のとおりであります。

(建設事業部門)

当第3四半期連結累計期間の受注高は32億7千5百万円（前年同四半期比23.1%減）、完成工事高は36億1千4百万円（前年同四半期比57.8%増）、営業利益は3億6千6百万円（前年同四半期比36.8%増）となりました。

(碎石事業部門)

当第3四半期連結累計期間の売上高は18億6千8百万円（前年同四半期比5.6%減）、営業利益は4億4千3百万円（前年同四半期比24.4%減）となりました。

(酒類事業部門)

当第3四半期連結累計期間の売上高は1億7千4百万円（前年同四半期比16.2%減）、営業損失は2千6百万円（前年同四半期は営業損失2千7百万円）となりました。

(その他の事業部門)

当第3四半期連結累計期間の売上高は2億7千9百万円（前年同四半期比10.0%減）、営業利益は2千万円（前年同四半期比10.9%減）となりました。

財政状態

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は46億5千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億5千9百万円増加いたしました。これは主に現金預金が8億2千7百万円減少いたしました。受取手形・完成工事未収入金等が10億1千8百万円増加したことによるものであります。固定資産は28億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千1百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が2千9百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、74億8千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千1百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は35億4千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が1億9千9百万円減少したことによるものであります。固定負債は6億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ4千万円減少いたしました。これは主に長期借入金4千6百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、41億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7千1百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は33億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千3百万円増加いたしました。これは主に配当金3千1百万円の支払及び親会社株主に帰属する四半期純利益4億8千9百万円によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 生産、受注及び販売の実績

受注実績

| セグメントの名称 | 前第3四半期累計期間 | 当第3四半期累計期間 | 前年同期比(%) |
|----------|------------|------------|----------|
| 建設事業(千円) | 4,260,623 | 3,275,848 | 76.9 |

(注) 1. 当社及び連結子会社では建設事業以外は受注生産を行っておりません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 2,124,000 |
| 計 | 2,124,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日) | 提出日現在発行数(株) (2020年5月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名 | 内容 |
|------|--|-----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 661,000 | 661,000 | 福岡証券取引所 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 661,000 | 661,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (千株) | 発行済株式 総数残高 (千株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2020年1月1日～ 2020年3月31日 | - | 661 | - | 942,950 | - | 235,737 |

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------|----------|----|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 30,500 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 630,300 | 6,302 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 200 | - | - |
| 発行済株式総数 | 661,000 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 6,302 | - |

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が100株含まれております。また、議決権の数には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個は含めておりません。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|-----------------|-------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| サイトホールディングス株式会社 | 福岡県朝倉市下淵472 | 30,500 | - | 30,500 | 4.61 |
| 計 | - | 30,500 | - | 30,500 | 4.61 |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年7月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、如水監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 2,306,598 | 1,479,410 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 1,878,721 | 2,897,561 |
| 未成工事支出金等 | 184,636 | 221,078 |
| その他 | 24,731 | 53,668 |
| 貸倒引当金 | 2,760 | - |
| 流動資産合計 | 4,391,926 | 4,651,719 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物・構築物(純額) | 295,367 | 279,606 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品(純額) | 717,836 | 769,689 |
| 土地 | 790,994 | 790,990 |
| リース資産(純額) | 7,582 | 3,450 |
| その他 | 20,259 | 17,770 |
| 有形固定資産合計 | 1,832,039 | 1,861,506 |
| 無形固定資産 | | |
| 採石権 | 12,666 | 12,666 |
| その他 | 2,663 | 2,663 |
| 無形固定資産合計 | 15,329 | 15,329 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 266,544 | 274,178 |
| 保険積立金 | 214,295 | 226,179 |
| 繰延税金資産 | 87,691 | 42,672 |
| 退職給付に係る資産 | 100,810 | 72,984 |
| その他 | 363,979 | 399,760 |
| 貸倒引当金 | 60,150 | 60,141 |
| 投資その他の資産合計 | 973,170 | 955,633 |
| 固定資産合計 | 2,820,540 | 2,832,469 |
| 資産合計 | 7,212,466 | 7,484,188 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年6月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2020年3月31日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 978,166 | 1,122,542 |
| 短期借入金 | 1,662,242 | 1,811,945 |
| リース債務 | 5,897 | 3,854 |
| 未払費用 | 179,048 | 74,790 |
| 未払法人税等 | 232,953 | 33,651 |
| 未成工事受入金 | 346,192 | 336,591 |
| 工事損失引当金 | 23,000 | 6,300 |
| 賞与引当金 | 7,923 | 33,592 |
| その他 | 241,196 | 122,427 |
| 流動負債合計 | 3,676,620 | 3,545,694 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 445,276 | 399,002 |
| リース債務 | 2,574 | - |
| 繰延税金負債 | 17,786 | 5,680 |
| 退職給付に係る負債 | 141,938 | 159,295 |
| 役員退職慰労引当金 | 38,074 | 40,941 |
| その他 | 3,835 | 3,835 |
| 固定負債合計 | 649,484 | 608,753 |
| 負債合計 | 4,326,104 | 4,154,448 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 942,950 | 942,950 |
| 資本剰余金 | 594,558 | 594,558 |
| 利益剰余金 | 1,412,516 | 1,870,305 |
| 自己株式 | 35,833 | 35,833 |
| 株主資本合計 | 2,914,191 | 3,371,980 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,164 | 30,623 |
| 為替換算調整勘定 | 15,665 | 11,615 |
| その他の包括利益累計額合計 | 27,829 | 42,239 |
| 純資産合計 | 2,886,361 | 3,329,740 |
| 負債純資産合計 | 7,212,466 | 7,484,188 |

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | | |
| 完成工事高 | 2,291,009 | 3,614,801 |
| 兼業事業売上高 | 2,498,413 | 2,322,728 |
| 売上高合計 | 4,789,423 | 5,937,529 |
| 売上原価 | | |
| 完成工事原価 | 1,803,593 | 2,990,188 |
| 兼業事業売上原価 | 1,573,344 | 1,655,079 |
| 売上原価合計 | 3,376,937 | 4,645,267 |
| 売上総利益 | | |
| 完成工事総利益 | 487,416 | 624,612 |
| 兼業事業総利益 | 925,069 | 667,649 |
| 売上総利益合計 | 1,412,485 | 1,292,262 |
| 販売費及び一般管理費 | 714,490 | 651,820 |
| 営業利益 | 697,994 | 640,441 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 868 | 732 |
| 受取配当金 | 1,458 | 1,471 |
| 固定資産賃貸料 | 36,087 | 36,304 |
| 持分法による投資利益 | 41,145 | 65,050 |
| その他 | 10,631 | 9,533 |
| 営業外収益合計 | 90,191 | 113,092 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,662 | 13,985 |
| 為替差損 | 1,267 | 3,170 |
| その他 | 9,764 | 8,309 |
| 営業外費用合計 | 25,694 | 25,465 |
| 経常利益 | 762,491 | 728,068 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 10,596 | 12,296 |
| 特別利益合計 | 10,596 | 12,296 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 13,376 | 950 |
| 特別損失合計 | 13,376 | 950 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 759,712 | 739,415 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 249,028 | 217,010 |
| 法人税等調整額 | 17,997 | 33,091 |
| 法人税等合計 | 267,026 | 250,101 |
| 四半期純利益 | 492,686 | 489,313 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 492,686 | 489,313 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 492,686 | 489,313 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16,588 | 18,226 |
| 為替換算調整勘定 | 1,927 | 4,049 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | - | 232 |
| その他の包括利益合計 | 18,516 | 14,409 |
| 四半期包括利益 | 474,170 | 474,903 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 474,170 | 474,903 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

【注記事項】

(会計方針の変更)

「連結財務諸表作成における在外子会社等の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 2019年6月28日)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 2018年9月14日)(以下「実務対応報告第18号等」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、在外子会社等において国際財務報告基準第9号「金融商品」を適用し、資本性金融商品の公正価値の事後的な変動をその他の包括利益に表示する選択をしている場合に、連結決算手続上、当該資本性金融商品の売却損益相当額及び減損損失相当額を当期の損益として修正することとしました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

債務保証

前連結会計年度(2019年6月30日)

(有)山本商店の金融機関からの借入債務に対する保証が、4,966千円あります。

当第3四半期連結会計期間(2020年3月31日)

(有)山本商店の金融機関からの借入債務に対する保証が、2,000千円あります。

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

1 当社グループの主たる事業である建設事業においては、契約により工事の完了引渡しが第3四半期連結会計期間に集中するという季節的変動要因があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 214,785千円 | 231,657千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2019年3月31日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 2018年9月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 25,219 | 40 | 2018年6月30日 | 2018年9月28日 | 利益剰余金 |

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2020年3月31日)

1 配当に関する事項

配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 2019年9月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 31,524 | 50 | 2019年6月30日 | 2019年9月27日 | 利益剰余金 |

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年7月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 建設事業 | 砕石事業 | 酒類事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,291,009 | 1,980,011 | 208,026 | 4,479,047 | 310,375 | 4,789,423 | - | 4,789,423 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 16,350 | 156,114 | 515 | 172,980 | 22,844 | 195,824 | 195,824 | - |
| 計 | 2,307,359 | 2,136,126 | 208,541 | 4,652,027 | 333,220 | 4,985,247 | 195,824 | 4,789,423 |
| セグメント利益又は 損失() | 268,030 | 586,422 | 27,551 | 826,901 | 23,438 | 850,339 | 152,345 | 697,994 |

(注)(1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2)セグメント利益又は損失の調整額152,345千円には、セグメント間取引消去1,416千円、各報告セグメントに配分していない全社費用153,761千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「酒類事業」セグメントにおいて、機械装置・工具器具備品、車両運搬具及び長期前払費用の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては13,056千円であります。

「その他」セグメントにおいて、工具器具備品の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては319千円であります。

当第3四半期連結累計期間(自2019年7月1日 至2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|-----------|-----------|---------|-----------|-------------|-----------|-------------|-------------------------------|
| | 建設事業 | 砕石事業 | 酒類事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,614,801 | 1,868,928 | 174,376 | 5,658,105 | 279,423 | 5,937,529 | - | 5,937,529 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 600 | 140,679 | 646 | 141,925 | 56,022 | 197,948 | 197,948 | - |
| 計 | 3,615,401 | 2,009,607 | 175,022 | 5,800,031 | 335,446 | 6,135,477 | 197,948 | 5,937,529 |
| セグメント利益又は 損失() | 366,607 | 443,207 | 26,411 | 783,403 | 20,884 | 804,287 | 163,846 | 640,441 |

(注)(1)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油販売事業、不動産事業、太陽光発電事業、環境事業、警備事業及び乳酸菌事業を含んでおります。

(2)セグメント利益又は損失の調整額163,846千円には、セグメント間取引消去1,508千円、各報告セグメントに配分していない全社費用165,354千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(3)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日) |
|-----------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益 | 781円45銭 | 776円13銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 492,686 | 489,313 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円) | 492,686 | 489,313 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 630 | 630 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月11日

サイタホールディングス株式会社

取締役会 御中

如水監査法人

指 定 社 員 公認会計士 廣島 武文 印
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 内田 健二 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイタホールディングス株式会社の2019年7月1日から2020年6月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年1月1日から2020年3月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年7月1日から2020年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイタホールディングス株式会社及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。